

地震災害

地震を知ろう

地震は、地下の岩盤が急激にずれることで発生した波が周囲に伝わることによって起こります。

地震のタイプは大きく次の2つに分けられます。

- ・プレートとプレートの境界で起こる「海溝型地震」
- ・断層がずれることによって引き起こされる「活断層型地震」

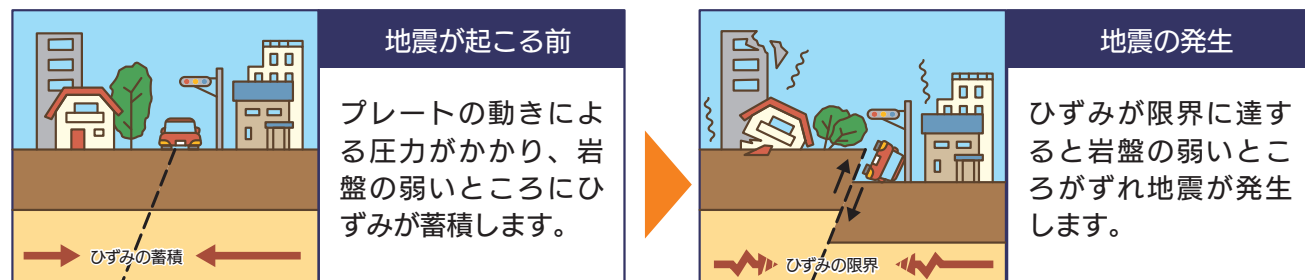


海溝型地震 発生のおきみ



東日本大震災は「海溝型地震」で、太平洋プレート（海のプレート）と北米プレート（陸のプレート）の境界にあたる水深6,000m以上の深い溝（海溝）で発生しました。

活断層型地震 発生のおきみ



阪神・淡路大震災は活断層型地震で、六甲・淡路島断層帯の1つ、野島断層のずれによって発生しました。

地震時の避難行動

初動 1分	避難行動 10分	避難生活 数時間	避難生活 数日～
■まず頭を守る。 ■火の始末をする。 ■ドア・窓を開けて逃げ道を確保する。	■ブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉める。 ■建物の外に出て安全を確保する。 ■家族の安全を確認後、近隣の安否・出火の有無などを確認する。	■自宅が安全であれば在宅避難する。 ■可能であれば親せき・知人宅に分散避難する。 ■自宅が安全でない場合や、近くで火災が発生している場合は、非常持ち出し袋をもって安全な避難場所等の広いスペースへ避難する。 ■災害用伝言ダイヤルやSNSで無事を知らせる。	■自宅に戻れない場合は、開設された避難所へ避難する。 ■避難所では集団生活のルールを守る。 ■在宅避難でも備蓄が不足する場合は避難所で物資を受け取る。

震度を知る

震度は、ある場所がどれくらい揺れたのかを表します。

同じ地震であっても、震源からの距離や地盤の揺れやすさなどで、揺れの大きさは変わってきます。日本では、震度に対して0から7までの数字で決めています。

震度7	・立っていることができず、はわないと動くことができない。 ・固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。
震度6強	・立っていることができず、はわないと動くことができない。 ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度6弱	・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度5強	・大半の人が行動に支障を感じる。 ・棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。 ・窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度5弱	・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ・棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものが倒れることがある。 ・まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

緊急地震速報って？



地震により最大震度5弱以上の揺れを予想した時に、震度4以上の揺れを予想した地域に対して、テレビ・ラジオ・携帯電話などを通じて発表します。緊急地震速報が届いたら、ただちに身の安全を守ってください。